



外来魚駆除大作戦！（生物多様性保全活動）

日清紡ブレーキ株式会社

当社で実施している生物多様性保全活動についてご紹介いたします。



中野沼（西沼）



マミズクラゲ

当社館林事業所（群馬県邑楽郡邑楽町）の近郊にある中野沼（西沼）には、マミズクラゲ、キンブナなど多くの希少種、絶滅危惧種が生息していることから、邑楽町ではこの沼を町の天然記念物として指定し、その保全活動を推進しています。当社はこの活動を支援し、邑楽町が開催する外来種駆除活動へ社員を派遣しています。

2016年度は5月28日と6月4日の2日間、「外来魚駆除釣り大会」が開催され、弊社からは10名の社員が参加しました。普段は釣り禁止の沼ですが、この日はそれが解禁となり、約200名の釣り人が集まりました。



大会に参加した当社社員

下の写真にあるような 60cm のライギョをはじめ、たくさんのブラックバス、ブルーギルを駆除することができました。中には 30cm を超えるミシシippアカミミガメを釣り上げる方もいて、和気あいあいと一日を過ごしました。



釣り大会風景



ライギョ (60cm オーバー)

また館林事業所では、毎週 1 回、沼周辺のパトロールも実施し、釣り禁止区域での釣り人のマナー向上及び自然環境保護を図っています。

これらの活動は、2017 年度も継続する予定です。